Sodick

13 ナノインプリントで露光装置（キヤノン）

11
超小型の滑り軸受
NTNは、内径が超小型の0.6ミリ㍍となる滑り軸受「動圧ベアファイト」を開発。

14
ガラス用途に使用
タキロンシーアイは、ガラス用途に使用するポリカーボネート樹脂の成形加工を確立。

Neg GLASS FOR FUTURE 日本電気硝子

日刊工業新聞
THE NIKKAN KOGYO SHIMBUN
10月16日 月曜日
2023年（令和5年）

M&A加速 100億円投資
AZ―COM丸和 外食物流も視野

【さいたま】AZ―COM丸和ホールディングス（HD）は2025年3月期までに、設備投資やM&A（合併・買収）で約400億円を投じる。物流施設に導入するマテハン設備などに投資するほか、外食産業向け物流企業などの買収を検討している。物流大手の同社は、25年3月期に現状比約35%増の売上高2400億円を目指している。戦略的なM&Aや設備投資により競争力を高め、達成を後押しする。

設備増強に300億円

M&Aに約100億円を充てる。AZ―COM丸和はスーパーマーケット（SM）など向けの低温食品物流を強みとするが、外食産業向けの物流は未参入。外食産業向けの物流は、配達先のほとんどが飲食店などの小規模店舗で、店先に駐車場が整備されてないことが多く輸送が難しいのが一因だ。さらにSM向け物流と異なり夜間の配送が中心となるなど、独自の物流施設や配達ノウハウが必要となる。

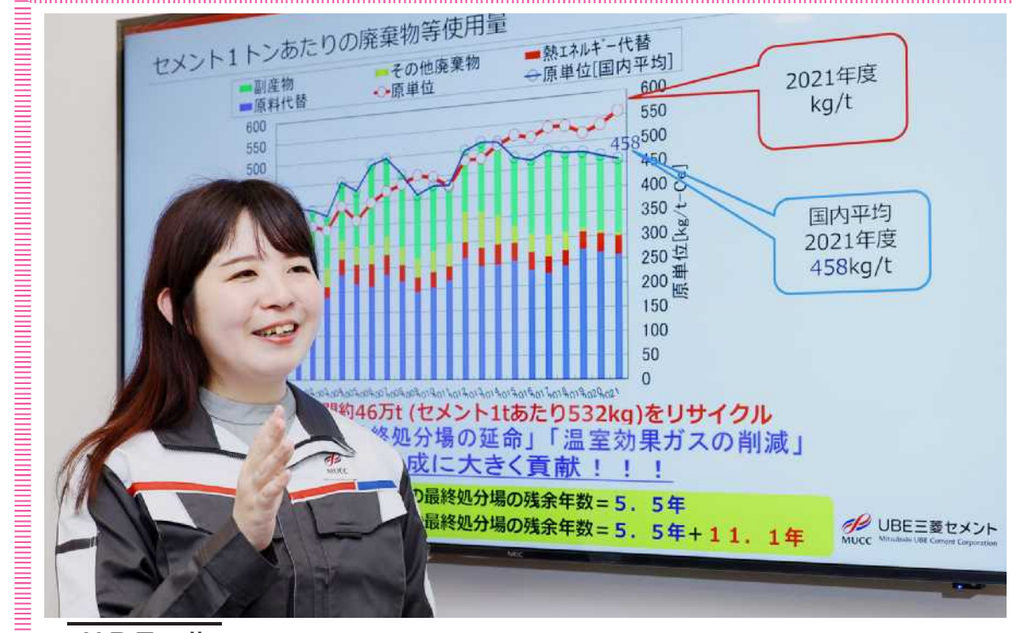
AZ―COM丸和は「桃太郎便」で知られる

和佐見勝社長は「当社は（外食産業物流の）細かなニーズに対応したローコストオペレーションを有していない。M&Aにより輸送技術や技量を学んでいく」とし、外食産業向け物流への進出を視野に入れる。

このほか、大型トラックを使った配送を中心とする物流企業のM&Aも検討している。運転手不足が懸念される「物流2024年問題」が目前に迫る中、人材確保や輸送量の確保にもつなげる。

設備投資には約300億円を投じる。東海地区で建設中の物流センターに導入するマテハン機器や、関連システムなどに投資する見込み。

同社は輸配送サービス「桃太郎便」で知られ、低温食品物流のほか、アマゾンジャパン（東京都目黒区）の配送業務を受託している。コロナ禍の巣ごもり需要を背景に急成長している。



UBE三菱セメント

吉田 友香（よしだ ゆか）さん 品質保証 焦りは禁物

UBE三菱セメントの吉田友香さん（29）は、セメントの品質を保証する試験成績表の作成に関わる。「ミスが許されない重要な仕事。焦っている時ほど丁寧に行うこと」が仕事の信条だ。「顧客・製造側の目線を同時に持ち合わせた」自身の強みを生かせる仕事にも挑戦したいと意気込む。 （5面に続く）

リケジョneo 242

JMU、売上高4000億円
30年度 5割増 環境対応船 受注拡大

JMU発足後の売上高

ジャパンマリンユナイテッド（JMU、横浜市西区、瀧信之社長）は、2031年3月期をめどに、売上高を23年3月期比約5割増の4000億円に引き上げる方針を明らかにした。温室効果ガス（GHG）排出を50年ごろまでに実質ゼロにする国際海事機関（IMO）の新目標を受け、アンモニアやメタノールなど新燃料に対応した環境対応船の受注を強化。年60億―70億円の設備投資を継続する」（瀧社長）考え。

JMUの売上高は16年3月期の3505億円が過去最高。近年は大型船の建造が多くなり、竣工隻数の減少で売上高も低下傾向にあり、22年3月期には2274億円まで落ち込んだ。まずは28年3月期に3500億円を目指す。足元では約2年半分の手持ち工事量を確保している。

設備投資も進める。津事業所（津市）に大型ゴライアスクレーン（門型クレーン）1基を導入する計画。ドック内で船体ブロックを効率良く搭載する造船所の主要設備で、津事業所では現状、吊り上げ能力700㌧1基と同200㌧1基を保有する。500―700㌧級の1基を導入し、建造効率を高める。

有明事業所（熊本県長洲町）では、進水後の船体に各種装置を取り付けるための艤装岸壁を拡張する計画。現在は超大型タンカー（VLCC）2隻分だが、3隻分を係留できるようにする。

このほか、各事業所でロボットなどの自動化投資を継続し、今後懸念される人手不足に対応する。

日本造船工業会は世界の新造船需要を予測し、環境対応船への更新のため、30年代早々から50年までに毎年、年間1億総㌧を超える需要が生まれると見込む。JMUは環境対応船開発と生産性向上で需要を取り込む。

設備投資を継続し、各造船所の生産性を引き上げる（津事業所）

フライス盤の使いやすさを追求する ― フライス盤の専門メーカー
山崎技研のフライス盤は
“単品加工のエキスパート”です
株式会社 山崎技研
https://www.yamasakigiken.co.jp

田中電気を子会社化
電子基板の調達効率化

成電工業、制御盤でシナジー

成電工業（群馬県高崎市、滝沢啓社長）は、計測機器や電子基板の設計・製造を手がける田中電気研究所（東京都世田谷区）の株式を取得し子会社化した。成電工業は制御盤の設計・製造、半導体製品の加工が主力で、関連技術や知見が強み。独自製品を展開し、開発力も高い田中電気をグループに迎えることで、シナジーが得られると判断した。

成電工業がこのほど田中電気の発行済み株式の8割を経営側から取得した。取得額は非公開。ストライクが仲介した。今回のM&A（合併・買収）で成電工業グループは中核の成電工業を含め4社となった。

成電工業は産業設備用の制御盤を得意とする。ただ、制御盤の主要部品の一つである電子基板は自社生産せず、支給品や購入品を組み込んでいる。田中電気は電子基板の回路設計から生産まで手がける。今後はグループ内で電子基板を調達できるようになることから、納期短縮や品質向上、顧客要望への柔軟な対応などにつなげる。

田中電気は排煙中の煤じんを監視するダスト濃度計を独自製品として展開し、火力発電所や製鉄所などに販売実績を持つ。ダスト濃度計を運用するには制御盤が必要で、発注元から一括納入を打診されることも多かった。今後はグループでダスト濃度計と制御盤をセットで納入できる体制が整う。

田中電気はダスト濃度計の性能評価方法と製品規格で日本工業規格（JIS）の原案を作成し、制定につなげた。これらの規格化や標準化に関する知見もグループで活用する。

両社で部品調達を効率化し、コスト低減も図る。人材交流も促進し、中長期的に新規事業の立ち上げや新製品開発にもつなげる。

成電工業は1971年設立で2023年4月期の売上高は10億円。田中電気は63年設立で23年4月期の売上高は3億円。

産業春秋

2019年公開のドキュメンタリー映画「ガザ 素顔の日常」が14日、緊急オンライン上映された。イスラエル軍による地上侵攻の脅威が迫る中、市井の人々が置かれた状況に胸がふさがれる▼作品に登場するのは、15年以上にわたる経済封鎖下にあるパレスチナ自治区ガザ地区に暮らす老若男女。「ガザでは5分後に何が起こるか分からない」。この言葉が現実のものになろうとしている▼今回の事の発端はガザ地区を実効支配するハマスがイスラエルに攻撃を仕掛けたため、日本を含む先進国はハマス非難で一致する。ただ状況は刻一刻と変化する。電力や水の供給を遮断する完全封鎖や市民への退避勧告に対しては欧州連合（EU）が強く非難。国連も退避のリスクに警鐘を鳴らしていた▼エネルギーを中東に依存する日本はこの地域の安定化を重視。イスラエルとアラブ諸国、双方との信頼醸成に尽くしてきた。今回、この立場をどう発揮するかが問われる▼そして私たちは自身の無力さを嘆くだけなのか。国際協力団体の関係者はこう訴える。「世界中で分断が広がる中、過度に扇情的な発言にくみしない冷静さをもって人道上の危機に対して一人ひとりが声を上げてほしい」。

2023年10月16日

4年ぶりの対面セッション開催
注目テーマ サステナビリティ 人工知能（AI） デジタル田園都市国家構想
CEATEC 2023 TOWARD SOCIETY 5.0
2023 10.17 TUE-20 FRI ※オンラインセッションは10月31日まで公開
600社/団体以上が出展予定
入場登録受付中 開幕まであと1日
www.ceatec.com

TODAY
28 深層断面

包装機械に新トレンド
包装機械業界で新たなトレンドが目立ってきた。環境対応型製品の開発が相次いでいるほか、コロナ禍を経て拡大した宅配便用の薄型段ボールに適合した製品が登場した。また市場開拓余地の大きい海外を目指す動きもある。
08 使用電力の半分を太陽光で マルダイスプリング
09 インドで鋳造技術者育成支援 木村鋳造所
13 ロボでRFID読み取り 大日本印刷、蔵書点検効率化
19 アルミ合金の強度と延性両立 物材機構
25 少量多品種生産を効率化 さくら製菓、本社工場を移転
卓見異見
05 Jーオイルミルズ取締役 常務執行役員CTO・松本英三氏
講 壇
06 商船三井医務室長・原徹男氏
決算まとめ 18.コンビニ
14 石狩湾で風車組み立て完了

（清水建設）
【広告特集】
CEATEC あす開幕 12面
トップランナー変圧器 18―19面

大災害時のID 発行について
大規模自然災害で印刷所からの新聞輸送に支障が生じた際は、月ぎめご購読者に限り電子版が一時的にご覧になれます。ウェブサイトhttps://www.nikkan.co.jpからお入り下さい。
日刊工業新聞社

www.nikkan.co.jp

CEATEC TOWARD SOCIETY 5.0 2023
デジタルイノベーションの総合展示会 CEATEC 2023
10/17 Tue 10/18 Wed 10/19 Thu 10/20 Fri
幕張メッセ
AM 10:00 ▶ PM 5:00
公式サイトより来場事前登録受付中！▶▶▶ https://www.ceatec.com
主催 一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA） 共催 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）/一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ） 運営 CEATEC 運営事務局（一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）